

市政記者各位

令和5年5月1日  
福岡市科学館

## 福岡市科学館ドームシアター 6月7日(水)～ プラネタリウム新番組上映決定！

福岡市科学館ドームシアターでは、「ちびまる子ちゃん」のプラネタリウム新作品『プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて』を2023年6月7日(水)より上映します。本作品ではなんと、当館ドームシアター学芸員が“車掌さん”役の声優として出演します！前作『プラネタリウム ちびまる子ちゃん それでも地球はまわっている』での出演に続き、2度目の出演です。ぜひご取材ください。

### プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて



©さくらプロダクション/日本アニメーション

#### あこがれの南十字星を探しに行こう！

オーストラリアから来た少年ジムと出会うまる子。星好きのジムから南十字星について教えてもらう。『銀河鉄道の夜』に登場する南十字星、地図のない時代、海の冒険者が道しるべにした南十字星。

知れば知るほどあこがれは強くなるが、日本からは見えないことを知り落ち込む。そして別れの日。

「南と北半球で見える星は違うけど天の川はつながっている。だから夜空の星を見て」「うん、絶対に見る！」二人は約束を交わすのであった。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

#### 福岡市科学館学芸員が声優として出演！

前作『プラネタリウム ちびまる子ちゃん それでも地球はまわっている』（2019年-2020年当館で放映）で科学館の“学芸員のお姉さん”役で出演した、当館学芸員の丹野佳代子が、今作品では“車掌さん”役の声優として出演します！ぜひご注目ください。

### 福岡市科学館学芸員 丹野佳代子より

前作『プラネタリウム ちびまる子ちゃん それでも地球はまわっている』に続きお声がけをいただき、とても嬉しく思っています。

約3年ぶりのスタジオ。コロナ禍でアフレコの風景は大きく変わってしまいましたが、強い絆で結ばれたスタッフの皆さんのチームワークとアットホームな雰囲気はそのままでした。

アフレコにより、無音の動画に“命”が吹きこまれていきます。音だけではありません。短い時間の中でアドリブも含めいろいろな演出アイデアが飛び交い、キャラクターの動きや表情が一気に艶やかになります。気づけば自分もその“世界”にいるのです。

魔法のような光景に感動で身体が震えっぱなしでした。「ちびまる子“ファミリー”」の皆さんの想いがたっぷり詰まった作品です。ぜひご覧ください。



▶前列左から  
豊嶋真千子さん〔お姉ちゃん役〕・TARAKOさん〔まるちゃん役〕・野島健児さん〔ジム役〕  
▶後列左から  
渡辺菜生子さん〔たまちゃん役〕・一龍齋貞友さん〔お母さん役〕・屋良有作さん〔お父さん役〕・丹野佳代子〔車掌さん役〕

## 番組概要

### 一般番組 『プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて』

投映期間	2023年6月7日(水)～2023年12月4日(月)※投映時刻の詳細は館HPを参照
時 間	約45分間 (約15分間の今夜の星空生解説+約30分間の番組投映)
観 覧 料	全席自由席 大人510円(税込)、高校生310円(税込)、★小・中学生200円(税込)、未就学児無料
観 覧 券	当日9:30より3階総合案内/チケットカウンターにて販売
対 象	小学生以上(推奨)
詳 細	<a href="https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/dome_theater/2023/05/chibimarukochan.html">https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/dome_theater/2023/05/chibimarukochan.html</a>

★「福岡県・子ども美術館・博物館無料鑑賞事業」を活用し、2023年4月1日から2024年3月31日まで、小学生料金および中学生料金を無料とします。※企画展示室、ドームシアター（一部の一般番組・スペシャル番組・イベント）など、上記以外の有料エリアやイベントは対象外です。

詳細は以下ご覧ください。

<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/news/2023/03/fee.html>

## 参考

### 丹野 佳代子 福岡市科学館 学芸員

佐賀県佐賀市生まれ。

佐賀県内公立学校で教鞭をとる。

佐賀県武雄市にある佐賀県立宇宙科学館の建設に際しては、プラネタリウム・天文台、宇宙関係の展示物の設計等をおこなう。

佐賀県立宇宙科学館開館後は、科学館に勤務し、宇宙チームのリーダーとして、プラネタリウムや天文台の運営、番組制作、教育普及活動をおこなう。

2008(平成20)年、天文教育普及に関する業績により、小惑星12411に「Tannokayo」と命名される。

佐賀県立博物館・美術館の学芸員を経て、現在は福岡市科学館に勤務し、ドームシアターリーダーとして、プラネタリウムの運営・番組制作等に当たっている。豊富な知識をバックボーンとした生解説は、星の語り部として、全国にファンも多い。

プラネタリウム番組のナレーションや番組制作の監修も行っている。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

お問い合わせ先



〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館

担当：穴澤・崎山・衛藤

メール：[pr.fcsm@fukuokacity-kagakukan.jp](mailto:pr.fcsm@fukuokacity-kagakukan.jp)

電話：(092) 731-2525 (代表) FAX：(092) 731-2530

H P：<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp>

